

統計グラフコンクール制作指導

岡崎市立梅園小学校

1 梅園小学校の統計教育のあゆみ

変化の激しいこれからの社会を生きる子どもたちにとって、自分が関心や興味をもっていることについて、必要なデータを主体的に集め、傾向を分析して自分の考えをまとめ発信することは、学習指導要領の「確かな学力」を育てる上でとても有意義な活動である。そこで梅園小学校では、統計グラフの制作を日々の授業で得た知識や技能を活用する場として捉え、子ども一人一人との対話を大切にしながら統計グラフの制作指導に当たってきている。

2 統計グラフ作品作り

子どもの関心・意欲を生かしたテーマづくりから指導を行い、取り扱うテーマは年々深まりをみせ、日常に起こり得る身近な疑問から社会問題まで幅広いものとなっている。デザインにおいては、グラフにも質問内容と関係のあるイラストを使うことで、見ただけで作品のテーマが伝わるように心掛けている。また、より見やすい色合いを考えたり質問の順番を工夫したりすることで、紙面上にストーリー性を持たせるようにしている。グラフについては、数値や調査内容について精査し、それぞれのグラフの持つ特長を理解した上で、より正確なグラフづくりを目指している。

本校では、夏休みの選択課題の一つとして位置付け、2学期には作品を発表する場を設けることで、算数的な表現力・言語力の育成にも力を入れている。また、作品展として掲示することで、この活動が学校全体へと広がるように心掛けている。

3 統計グラフ制作指導

① テーマ決め

自分の好きなことや興味のあること、身の周りのことや社会で話題になっていることなどから探す。

また、調査結果から何が伝えられそうかを一緒に考え、メッセージ性のあるテーマになるように指導する。

② データ(資料)集め

データの集め方は2通りあり、1つはアンケートや観察を行い、実際に自分で集める方法である。もう1つは、本や雑誌、新聞、インターネットなどを利用して、自分のテーマに関する資料を探す方法である。

(1) アンケート作り

テーマに沿ったアンケートを作る。質問内容を考える段階から、ある程度どのような作品に仕上がりそうなのか見通しを持たせるようにしている。また、1つの質問から多様に解釈し得る表現は避けて、シンプルで分かりやすい質問となるように指導している。アンケートの答え方は、データの整理がしやすいよう選択肢を持たせることを基本とし、より深く調べたいときは自由記述の欄を設けるようにしている。

(2) インターネットからの資料収集

内容が「環境」「災害」「事故」など愛知県や日本全国の統計情報を必要とする場合に、インターネットからの資料収集を薦めている。

③ 作品作り

画用紙やポスターカラーを使って作成する。グラフの特長を考えて、グラフの種類を選択させる。

レイアウトでは、いろいろなグラフの種類があるようにし、質問の順番には意味合いを持たせている。

4 最近の指導作品の成果(数値は入賞点数)

- 平成 23 年度 県金 1
全国佳作 1
- 平成 26 年度 県銅 2
- 平成 27 年度 県銅 1



第59回愛知県統計グラフコンクール銅賞
「あり？なし？小学生のけいたい電話」